

レクリエーション かながわ

スコール

(S C O L E)

発行日 平成 5 年 4 月 15 日
事務局 〒 221
横浜市神奈川区三ツ沢
西町 3-1
神奈川県立スポーツ館内
電 話 (045) 320-2430

内容 ・ 第 8 回研修会行われる
・ 指導者登録システム
変わる。

発行・神奈川県レクリエーション連盟 / 編集・専門(会員)委員会



ハイッポーズ // (1993. 1. 24 会員交流会)

評

はだかの王様
では？

時

常任理事 若木 一美

週休 2 日制の定着や、学校 5 日制により増える自由な時間。その時間の過ごし方にかかわる論議がさまざまな機関や団体等で活発に行なわれている。私たちのレク界でもそれに対応する新資格が誕生した。が、しかし、自分のまわりを見まわして欲しい。商業的に用意された各種スポーツ、文化活動に参加する人、家族やグループ単位で歩いたり、キャンプ等をする人、我々の用意する事業に参加する人びとなど、それぞれが健康や学習の為に明るく、楽しくその時間を過ごしているようだ。ところが私たち自身は組織を維持する為の論議や、事業を消化する為に関係者のみが右往左往したりすることに多くの時間を費やしてはいないだろうか。研修で得た知識や永年の経験を活かす場はどこなのか？ 対象はだれなのか？ 何を目的に活動するのか？ 家族や職場・学校など身近な人々に理解されているのか？ 「はだかの王様」にならないよう私も含めて気をつけたいものだ。

足柄ふれあいの村で行なわれた第八回会員研修会
「余暇生活の支援者としてのレクリーターの役割」第二弾

レク指導を、一人一人の余暇の自立のための支援活動として、時代の要請に応える、レク指導者の果たす役割をさぐる。



「余暇診断」を語る今井 毅先生

第八回会員研修会は、二月二七日～二八日の一泊二日で、大自然に囲まれた県立足柄ふれあいの村を会場に行われました。第七回のテーマに引き続き「余暇生活の支援者としてのレクリーターの役割」第二弾として、ふれあいの村、佐野美三雄村長の「余暇生活の過ごし方」の講演や、日本体育大学今井毅教授による「自分の余暇を見

つめる」余暇診断の演習、そしてネイチャーゲームなどの実技講習を行いました。佐野村長の講演を簡単にご紹介します。佐野発「生活者の戦略」というサブタイトルで「生活者の余暇」と「生活のシフトづくり」について語られ、余暇については、労働時間の短縮等で、余暇が本暇となるでしょうとの見解、同時に時短の問題は「テーマ追求」であることを力説されました。また生活のシフトづくりについては、いくつかのキーワードを示されました。人々の生き方について「開・際・縁・融」。今求められている事「学遊・仕遊・創行」等。最後に、レクリーターの戦略論とはなにか、一人一人がシナリオを作ってほしい。そして発信していただきたいとの、参加者への要望もありました。

佐野村長をはじめ、施設職員の暖かい対応に感謝します。



林の中でネイチャーゲーム

最初は「自分の余暇活動を探る」として、現在続けている活動、やり直したい活動、そして新たにやってみたい活動などに気づき、「私の余暇生活志向」をグループメンバーと語らい確認しあいました。「余暇時代をどう生きるか」では様々な特徴と問題点、症候群などを紹介、日常を改めて考えさせられました。続いて自分の余暇生活の整備状況を自己診断、それぞれの生活の中で、長所・短所・改善点・調整法など、今井式余暇診断法を演習しました。

それぞれが自分の余暇生活の過ごし方を再認識しました。

二日目の午前中は日本体育大学の今井 毅教授から「余暇診断」と「余暇時代をどう生きるか」の講義と演習のご指導を頂きました。今井先生は前日の夕方から入村され、情報交換会にも参加してくれました。身近に暖かさ、熱心さを感じとられ、期待が広がりました。

演習「自分の余暇を見つめる
余暇診断」



もちろんゲームも楽しみました。

平成5年度
県レク事業予定
レクスクール予定(要する)

平成5年度の、神奈川県レク連盟の予定がおおよそ決まり、示されました。皆さんの予定にいられておいてください。

○県レクフェスティバル

◆六月二十七日(日)

◆七月四日(日)

会場 藤沢市善行

県立体育センター

内容については、四年度から始められた、スポーツレクリエーション大会との調整もあり現在検討中です。

○スポーツレクリエーション大会

◆日時は未定

◆日時 未定

会場 未定

今のところ、県スポレク大会については、やるということだけしかお知らせできませんが、新しい方向で続けられます。

○県レクスクール

会場 藤沢市善行

県立体育センター

この講習会はレクリエーションインストラクター養成の講習会として行われますが、文部大臣事業認定の「社会体育指導者」日本レクリエーション協会公認レクリエーションコーディネーターの養成のための専門科目取得講習会を兼ねています。

参加費 三二、〇〇〇円

一回ごとに、理論と実技が行われます。全日程土曜日午後

理論と主な実技の日程

◆五月十五日(土)

理論 レクとはなにか

現代社会とレクの課題

◆五月二十九日(土)

理論 心身の健康づくりと

レクの関係

◆六月十二日(土)

理論 レク援助の

基本的な考え方

レク援助の構造

つづきは四面に掲載※

よろこびを広げよう! —愛川町—



全町民参加のレク大会、健康者、身障者、高齢者二〇〇名の参加で和やかな一日を過ごします。上の写真は玉入れコーナー、賞品を目指して一生懸命です。

左上の写真、ふるさとまつりの手づくりアクセサリコーナーで資金稼ぎをしています。



左は暮れに毎年続けているわづくり。自作の飾りで新年を迎えようと参加者は真剣です。



事務局だより

日本レクリエーション協会 情報より

○新資格制度にあわせて、登録の方法が変わります。①資格有効期限が「四年間」になります。ゆとりのある活動推進ができます。②「個人有効期限」制になります。複数の専門資格を持っていますが、有効期限は一つに揃えられます。③資格登録費用の構成が変わります。「基本登録料」一万三千元と「資格登録料」(三千元・一万三千元の2種類)の二本立てになります。④登録更新手続きが簡略化されます。費用の納入法が銀行口座からの自動振替制度導入になります。⑤「公認指導者はすべて都道府県レク協会の会員となる」。今まで、指導者でありながら強制でなかったが故に県レクの会員にならなかった方もいました。この制度を全国一律化するため、年会費が二千元に統一され、これも日レク協会に直接登録料とともに振替納入ということになります。⑥インストラクター以外は日レク協会が直接手続きを行います。

※六月二十六日(出)

実技 ダンスの実技と指導法

◆七月三日(出)

理論 個人集団社会での

レク援助の特徴と関連
レク援助の対象の理解

◆七月十七日(出)

理論 レク援助の領域の理解

◆九月四日(出)

理論 小集団グループの理解

グループレクの目的場面

◆九月十八日(出)

理論 グループレクの展開法

◆十月九日(出)

理論 余暇相談の考え方と範囲

◆十一月二十三日(出)

理論 余暇生活設計の考え方

◆十一月六日(出)実技 手芸工作

◆十一月二十日(出)

理論 レク組織の目的と役割

レク組織と指導者の役割

◆十二月四日(出)

実技 ターゲットボードゴルフ

県内ネットワーク

○ターゲットボードゴルフ協会

◆ファミリースポーツサタデー

毎月第二土曜日 午前中

会場 県立体育センター

◆ふれあいスポーツ

毎 第三日曜日 午前中

◆一月二十二日(出)実技ベタタンク

◆二月五日(出)実技 指導実習

◆二月十九日(出)

理論 レクプログラム企画の

基礎知識と企画の手順
プログラム運営の知識

◆三月五日(出)

理論 広報・PRの考え方

○会員研修会

◆十月二十四日(出)

◆二月二十六日(出)〜二十七日(出)

内容は引き続き

余暇生活支援について

○県レク交流会

◆一月三十日(出)場所未定

○全国一斉ウオーケラリー大会

◆五月十六日(出)

○全国レクリエーション大会

◆九月二十四日(出)〜二十六日(出)

東京都西部の各市町

○全国スポーツレクリエーション祭

◆十一月十三日(出)〜十六日(出)

千葉県内各市町村

○ベタタンク協会

◆普及指導員練習会

四月十八日(出) 午前中

会場 県立体育センター

◆普及指導員研修会

四月二十九日(祝)

会場 座間市栗原小

問い合わせは、各協会専「局」へ

事務局日誌

『百発に一つ』年令に比例して何を始めるにも気おくれし、チャレンジ精神も欠けてくる。レクの仕事に携わり大いに反省。おさそいがありゴルフに挑戦し始めた。止まっているボールをたたくのだからと高をくくっていたが、どうしてどうして、思い通りには百発に一つ、何事も体験して奥の深さもわかるもの、これからも会員の皆様と共にチャレンジ精神を大切にしたいと考えております。(渡辺)

編集後記

バブルがはじけても企業では福利厚生を重視する傾向にある。それは、転職による人材確保を狙う企業の実在や若年社員の定着を意識していることである。

長期的には二年後から、一貫した新規卒の減少期に入る見通しがあり、今春、若者をキャッチする魅力を改めて考えさせられる。また将来の労働力不足は、中高年層の福利厚生のあり方にまで影響を及ぼして来る。ただし、高齢化社会の中、企業の福利厚生も、コスト減、且つ創造への挑戦を余儀なくされるであろう。(堤)